

2,3月活動月報

2/1~3/15

いつも温かな応援をありがとうございます。

ついに今シーズンの主要レースが全て終了しました。

1年間待ち侘びたシーズンはあっという間に終わってしまいましたが、たくさんの人に助けていただいたおかげで、たくさん練習して出たいレースに出ることができました。また春からオフシーズンが始まりますが、この冬の時間をしっかり次に繋げられるような取り組みをしていきたいです。

活動場所

菅平バインピークススキー場（菅平FEC、全日本選手権開催地）

白馬八方尾根（白馬FEC開催地）

活動内容

<インカレ前走 2/15~2/21>

菅平FECの開催地である菅平のバインピークススキー場でインカレが行われました。FECと全日本選手権のレースコースを滑ることができる貴重な練習となるため、3日間前走を務めました。

インカレの期間中はかなり暖かく、雪が緩みました。足が取られやすく難しい雪質でしたが、FECの時に注意すべきポイントをおさえることができたと思います。



<菅平FEC 2/21~2/27>

菅平のFEC GS 2レースはコンディションの変化とメンタルとの戦いとなりました。

初日は快晴で雪が緩む中、勝たなければという気持ちが先行し、過度な緊張で動きが硬くなってしまいました。2本目は落ち着いた滑りで順位を大きく上げることができました。

2日目は、一転して雨と霧に包まれました。1番スタートという絶好のチャンスでしたが、視界やコース状況の悪さから、心のどこかで転倒を恐れてしまい、安全な滑りになってしまいました。

焦りや不安からいつも通りの動きができず、とても悔しい思いをしました。しかし、白馬のレースまでの残された少ない時間で、しっかり練習をし最後まで課題に向き合うことができたと思います。



<白馬FEC 2/28~3/5>

白馬では、開催前日に公開ビブドローが行われました。GSの種目別ランキングトップ7をキープしていたので、登壇してスタート順を決めるくじを引きました。同ポイントがおり8名でドローを行いました。まさかの8番を引いてしまいました。その日のくじ運はついていませんでしたが、コンチネンタルの大会でもこのようなイベントが増えていったらいいなと感じました。

白馬のFEC1日目は朝から気温が高く、最初からスケジュールを遅らせてコース作りをするほど雪面が柔らかくなっていました。雪面硬化剤を撒くなどしましたが、固まりきらず1本目のゴール前で外足を取られてしまい、大きな減速となってしまいました。

2本目はまっすぐなセッティングでしたが、他の選手の滑走ラインに合わせる事ができず、加速できませんでした。2日目は朝から大粒の雨が降り、残念ながらキャンセルとなりました。

FECの全レースが終わり、最終的にGSは14位に位置付けました。とても悔しい結果ですが、身体や心など全てを含めた私の今の実力だと受け止めています。

<全日本選手権大会 3/6~11>

全日本選手権は今シーズンのラストレースと決めて臨みました。身体への不安から、やはり理想的な動きは出来ませんでした。それでも諦めずレースに向けて気持ちも道具もしっかり準備しました。やることをやって出た結果だったので後悔は全くありませんが、だからこそ悔しい気持ちが本当に大きく、久しぶり大泣きしました。ですが、やり切ったからこそ次に向けてすぐ気持ちが切り替えられたと思います。

全く練習していなかったスラロームも2本滑り切って、今シーズンをやり遂げたと思います。



レース結果

2/24	菅平Far East cup	GS	17位
2/25	菅平Far East cup	GS	21位
3/2	白馬Far East cup	GS	23位
3/3	白馬Far East cup	GS	雨天中止
3/10	全日本選手権	GS	23位
3/10	全日本選手権	SL	32位

FEC Standings 14位 (アジア7位)



4月の予定

- ・3/31~4/3 HEADスプリングキャンプ ゲスト参加
- ・4/4~5 北海道スキー連盟キッズ コーチ参加
- ・4/6~7 抜釘手術
- ・4/26 後援会報告会



全日本選手権をもって今シーズンの主要大会を全て終えました。まだ国内ではレースが残っていますが、今の課題として身体への不安があるので、一足早く次に向けた準備に取り掛かることにしました。

ヨーロッパでの雪上復帰から始まった今シーズンですが、皆様からの応援のおかげで無事に最後までやりきることができました。応援本当にありがとうございました。全てが計画通りとはいきませんでしたが、上手くいかない時もたくさん考えて次に繋がる時間にできたとと思います。

また、今年はミラノオリンピックがあり自分の目標について考える時間も増えました。出場した選手それぞれのストーリーを見て、簡単に結果を残せる場所ではないと感じましたが、努力次第でこれからの私の4年にもそこにたどり着く道が作れると感じました。

今シーズンを終えて悔しい気持ちしか残っていませんが、たくさん悩んで苦しくてもトライし続けた時間も必ず次への糧にして、努力を続けていきます。

引き続きたくさんの方の応援をよろしくお願いいたします！